

本ガイドライン作成の背景・目的

- コロナ禍を経て社会情勢が大きく変化する中、**観光地・観光産業の高付加価値化を進め、持続可能な観光地域づくりを実現することが必要**
- 本ガイドラインは、これまでの観光人材育成に関する効果検証も踏まえつつ、**これからの時代に求められる観光人材の人材像と求められる知識・技能、そしてそのための教育内容を示し**、また、観光人材育成における**地域（DMO、自治体など）、国、教育機関などの役割も明らかにするもの**

観光人材の2つのタイプ

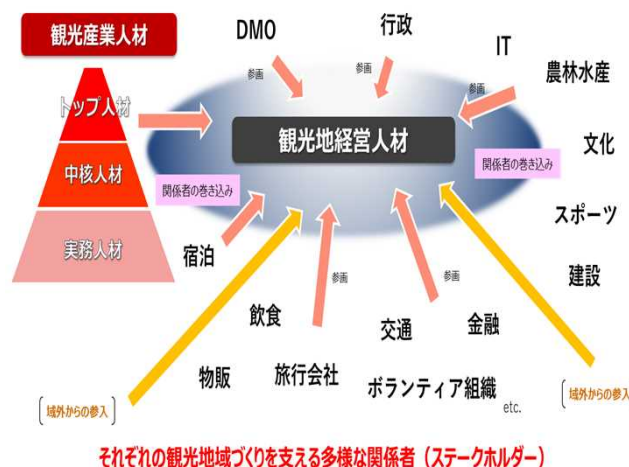
観光地経営人材

観光地全体の経営、観光地域づくりを担う人材

【求められる知識・技能】

- ① 観光地経営戦略
- ② 現代の観光地経営の動向
- ③ 観光地経営組織マネジメント
- ④ 観光地マーケティング
- ⑤ 地域観光のイノベーションと観光DX
- ⑥ 観光地経営のアントレプレナーシップと事業開発

持続可能な観光地域づくりの協力体制 (イメージ)



観光産業人材

観光地における個々の事業経営を担う人材

【求められる知識・技能】

- ① 観光事業戦略
- ② 現代の観光動向
- ③ 組織マネジメント
- ④ アカウンティング・ファイナンス
- ⑤ 観光マーケティング
- ⑥ 観光産業のイノベーションと観光DX

観光人材の育成に向けて

持続可能な観光地域づくりに向けては、**人材育成においても地域の関係者自身による自主的な取組が必要不可欠**

- 地域の役割 : **自治体やDMOが主導**して多様な関係者を巻き込み、**地域一体**となって、観光地経営人材の育成に取り組んでいく
- 国の役割 : **ガイドラインに基づく教育実践が各地で自主的に行われることを後押し**する
 - ① 地域関係者が連携して行う観光人材育成プログラム開発の支援
 - ② 観光人材育成プログラムの履修者の配置等を各種助成制度による支援の際に重み付け
- 教育機関の役割 : **ガイドラインを踏まえた必要な改善を行った**うえで、観光人材育成の取組を継続的に実施・発展させるとともに、**人材育成を行う指導者自体の確保・質向上も図る**
- 事業者の役割 : ガイドラインに基づく観光人材育成プログラムの**従業員の受講促進**、また、**受講した従業員に対する適切な処遇**
- DMOの役割 : 積極的な採用活動を行ったうえで、ガイドラインに基づく観光人材育成プログラムの**職員の受講促進**